



平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 東洋インキ製造株式会社

上場取引所 東

コード番号 4634 URL <http://www.toyoink.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐久間 国雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当

(氏名) 青山 裕也

TEL 03-3272-5731

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	108,469	△13.7	5,027	22.3	5,037	18.5	2,170	92.9
21年3月期第2四半期	125,735	—	4,110	—	4,249	—	1,125	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	7.18	—
21年3月期第2四半期	3.72	3.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	270,211	143,856	51.2	457.52
21年3月期	260,689	137,022	50.5	435.61

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 138,370百万円 21年3月期 131,750百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.50	—	4.50	10.00
22年3月期	—	4.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	9.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	△8.3	9,500	154.4	9,200	280.0	4,000	—	13.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	303,108,724株	21年3月期	303,108,724株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	669,413株	21年3月期	655,559株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	302,445,484株	21年3月期第2四半期	302,476,968株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月19日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。当該予想に関する事項につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 及び本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、昨年秋の「リーマン・ショック」を機に危機的状況に陥った世界経済が、各国の景気刺激策の効果などにより回復基調にあるものの、当企業グループの主力市場である印刷市場は依然として低迷が続いているうえ、建築市場や自動車市場などの回復も遅れています。

この厳しい事業環境のもと、当企業グループは、「逆境の中、モノづくりの原点に立ち戻り、新しいモデルで突破する」をスローガンに、攻めのモノづくり企業への進化を追求しつつ、総固定費の削減や原材料を始めとする諸資材の調達手段の改善などによる徹底的なコストダウン施策を進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,084億69百万円（前年同期比13.7%減）と減収になりましたが、利益面では、営業利益が50億27百万円（前年同期比22.3%増）、経常利益が50億37百万円（前年同期比18.5%増）、四半期純利益が21億70百万円（前年同期比92.9%増）と増益になりました。

セグメント別業績状況

(1) 事業の種類別

① 印刷インキ事業

オフセットインキは、国内では印刷市場が構造的な不況から脱却できず、輸出も引き続き円高の影響で低調に推移しました。紙器用のUVインキが伸長するも、主力の枚葉インキやオフ輪インキは顧客の稼働率の減少、新聞インキはカラー広告や部数・ページ数の減少に歯止めがかからず苦戦しました。また拡販が進んでいた海外も、1～3月を対象期間としている第1四半期は、世界的な大不況の影響で販売数量が大きく落ち込み、第2四半期に中国、東南アジア地域で徐々に回復するも、累計で大幅な減収になりました。

グラビアインキは、国内では出版や建装材用インキ、溶剤販売が減少しましたものの、主力の食品包装用は需要が堅調に推移しました。また海外では、第1四半期は販売数量が落ち込みましたものの、第2四半期には中国や東南アジア地域での食品包装用が回復してきました。

これらの結果、当事業全体の売上高は469億20百万円（前年同期比12.2%減）と減収になりましたが、国内外とも生産や物流工程を中心にコストダウンを進め、営業利益は38億17百万円（前年同期比25.9%増）と増益になりました。

② グラフィックアーツ関連機器及び材料事業

グラフィックアーツ関連機器は、POD（プリント・オン・デマンド）関連など小型機器は伸長しましたが、大型機械は印刷市場の構造的な不況から設備投資が抑えられ伸び悩みました。

グラフィックアーツ関連材料は、POD用やCTP（コンピュータ製版）用材料が伸長しましたが、その他の材料は印刷市場の低迷と価格競争の激化により伸び悩みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は123億91百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は1億74百万円（前年同期比49.5%減）と、減収減益に終わりました。

③ 高分子関連材料事業

缶用塗料（フィニッシュ）は、第1四半期に海外が低調でしたことに加え、第2四半期に国内の飲料缶用が冷夏により伸び悩みました。また樹脂は、高付加価値製品の拡販が進みましたが、建築関連向けが住宅需要低迷により伸び悩みました。

接着剤関連は、大幅に落ち込みました前期後半と比べ、ディスプレイ向け、エレクトロニクス向けの需要が急速に回復してきましたが、自動車向けなどの回復の遅れもあり、好調でした前年同期と比べると大幅な減収になりました。

塗工材料は、前期に販売を開始した電磁波シールドフィルム（TSSシリーズ）の拡販など、エレクトロニクス向けが伸長しましたが、貼る塗料のマーキングフィルムは広告需要の低迷により伸び悩みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は248億25百万円（前年同期比9.3%減）と減収になりましたが、高付加価値製品の拡販と強力なコストダウンを進めたため、営業利益は30億85百万円（前年同期比60.4%増）と増益になりました。

④ 化成品及びメディア材料事業

汎用顔料は、国内、海外とも印刷インキの需要低迷により低調に推移しました。一方、高機能顔料は、中国や国内での液晶ディスプレイ用を中心に、需要が回復してきました。

プラスチック用着色剤は、容器用は堅調に推移しましたが、自動車向け、建装材向けは回復に至らず低調に終わりました。

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、大幅に落ち込みました前期後半と比べ、中国での需要喚起や国内での助成金制度（エコポイント）の影響もあり急速に販売が回復しましたが、好調でした前年同期と比べると大幅な減収になりました。またインクジェット材料は、広告需要の減少などにより、低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は239億5百万円（前年同期比22.2%減）、営業利益は27億35百万円（前年同期比34.1%減）と、減収減益に終わりました。

⑤ その他の事業

新型インフルエンザの影響で「ササマスク」の拡販が進みましたが、その他の商品販売が低調で、当事業全体の売上高は28億28百万円（前年同期比22.5%減）、営業利益は56百万円（前年同期比60.4%減）と、減収減益に終わりました。

(2) 所在地別

① 日本地域

オフセットインキやグラフィックアーツ関連材料及び印刷インキ用の汎用顔料は、印刷市場の低迷が続き低調に推移しました。また自動車向けや建装材向けの接着剤やプラスチック用着色剤なども、需要の回復が遅れています。

一方、エレクトロニクス向けやディスプレイ向けのカラーフィルター用材料や高機能顔料、接着剤は、大幅に落ち込みました前期後半と比べ、急速に回復してきましたが、好調でした前年同期と比べると大幅な減収になりました。また包装用のグラビアインキや接着剤は、堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は881億62百万円（前年同期比10.6%減）と減収になりましたが、高付加価値製品の拡販と徹底的なコストダウンを進めましたため、営業利益は40億50百万円（前年同期比75.0%増）と増益になりました。

② アジア・オセアニア地域

海外については決算期のズレにより、第1四半期が世界的な大不況の影響を最も受けた1～3月、第2四半期が4～6月を対象としています。このため、当地域でも第1四半期は主要製品が軒並み低調に推移しましたが、第2四半期に入ってから、中国や東南アジアのオフセットインキ及びグラビアインキ、台湾の液晶ディスプレイカラーフィルター用材料などを始めとして、急速な回復が進みました。

しかしまだ好調でした前年同期の水準まで達していないうえ、低調な第1四半期を含めた6ヶ月累計になると、売上高は255億93百万円（前年同期比22.0%減）、営業利益は10億17百万円（前年同期比44.3%減）と大幅な減収減益に終わりました。

③ ヨーロッパ地域

汎用顔料から高付加価値製品への構造改革を進めた当地域も、主力の高機能顔料が世界的な大不況の影響や、在庫圧縮のための生産調整により、低調に推移しました。また、拡販を進めているオフセットインキやプラスチック用着色剤も伸び悩みました。

これらの結果、売上高は11億93百万円（前年同期比40.3%減）と大幅な減収になり、営業損失は5億円（前年同期は2億71百万円の営業損失）に拡大しました。

④ 北米地域

世界的な大不況の影響からの回復が遅れており、オフセットインキや建装材向けのグラビアインキ、自動車向けプラスチック用着色剤などの主要製品が低調に推移しました。

この結果、売上高は27億75百万円（前年同期比24.7%減）と大幅な減収になりました。また、テキサス州の新製造所開設に伴う先行費用も発生しましたため、営業損失が1億81百万円（前年同期は7百万円の営業利益）になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の総資産の期末残高は2,702億11百万円で、期首残高より95億22百万円増加しました。負債の期末残高は1,263億55百万円で、期首残高より26億89百万円増加しました。純資産の期末残高は1,438億56百万円で、期首残高より68億33百万円増加しました。

為替の影響により、在外子会社の資産、負債が増加し、為替換算調整勘定が増加したほか、株式市況の回復により投資有価証券、その他有価証券評価差額金が増加、繰延税金資産が減少しました。また、手許資金の増強の結果、現金及び預金、有価証券が増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の期末残高は、期首残高より73億47百万円増加し、198億15百万円となりました。

営業活動により得られた資金は116億72百万円となりました。税金等調整前四半期純利益などによる資金増加に加え、たな卸資産を減少させたことなどにより資金が増加しました。

投資活動により使用した資金は34億68百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得に伴う支出によるものですが、前年同期と比べ大幅に圧縮しています。

財務活動により使用した資金は14億15百万円となりました。配当金の支払に伴う支出などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、需要の低迷により、売上高は前年同期を大幅に下回りました。第3四半期以降も、この傾向は続くものと見込まれます。

一方、利益においては、第3四半期以降、原材料価格の上昇や円高による圧迫が懸念されるものの、徹底的なコストダウン施策が当初計画以上に進展しております。

このような状況を勘案し、本日同時に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期の連結業績予想を、売上高2,200億円、営業利益95億円、経常利益92億円、当期純利益40億円に修正しました。

なお、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」では、通期の個別業績予想も修正しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,464	12,964
受取手形及び売掛金	76,215	74,701
有価証券	3,382	372
商品及び製品	21,289	23,384
仕掛品	1,757	1,412
原材料及び貯蔵品	10,814	10,750
繰延税金資産	2,353	2,510
その他	3,010	2,114
貸倒引当金	△646	△645
流動資産合計	135,640	127,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,076	81,022
減価償却累計額	△47,840	△46,455
建物及び構築物(純額)	34,235	34,566
機械装置及び運搬具	132,880	131,477
減価償却累計額	△107,725	△104,814
機械装置及び運搬具(純額)	25,155	26,663
工具、器具及び備品	19,762	19,460
減価償却累計額	△17,005	△16,445
工具、器具及び備品(純額)	2,756	3,014
土地	26,697	26,572
リース資産	64	56
減価償却累計額	△21	△12
リース資産(純額)	43	43
建設仮勘定	1,553	1,351
有形固定資産合計	90,441	92,211
無形固定資産	215	275
投資その他の資産		
投資有価証券	30,801	24,855
繰延税金資産	2,422	5,237
その他	11,470	11,297
貸倒引当金	△780	△753
投資その他の資産合計	43,913	40,638
固定資産合計	134,570	133,125
資産合計	270,211	260,689

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,093	33,417
短期借入金	31,153	30,016
未払法人税等	861	604
その他	11,604	12,312
流動負債合計	78,712	76,350
固定負債		
長期借入金	44,087	44,104
繰延税金負債	1,642	1,444
退職給付引当金	1,428	1,315
役員退職慰労引当金	28	228
債務保証損失引当金	156	—
その他	299	222
固定負債合計	47,642	47,315
負債合計	126,355	123,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,920	32,920
利益剰余金	80,637	79,827
自己株式	△255	△252
株主資本合計	145,035	144,229
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△421	△3,756
為替換算調整勘定	△6,243	△8,722
評価・換算差額等合計	△6,664	△12,478
少数株主持分	5,485	5,272
純資産合計	143,856	137,022
負債純資産合計	270,211	260,689

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	125,735	108,469
売上原価	100,033	84,086
売上総利益	25,701	24,382
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,205	2,730
給料及び手当	5,167	4,833
賞与	1,225	1,188
福利厚生費	1,327	1,234
減価償却費	881	639
研究開発費	1,353	1,287
その他	8,429	7,441
販売費及び一般管理費合計	21,590	19,354
営業利益	4,110	5,027
営業外収益		
受取利息	83	61
受取配当金	288	241
為替差益	—	56
持分法による投資利益	29	—
その他	690	536
営業外収益合計	1,092	896
営業外費用		
支払利息	604	560
為替差損	34	—
持分法による投資損失	—	33
その他	314	292
営業外費用合計	953	886
経常利益	4,249	5,037
特別利益		
固定資産売却益	82	9
投資有価証券売却益	—	12
その他	2	—
特別利益合計	85	21
特別損失		
固定資産除売却損	230	114
たな卸資産評価損	511	—
事業撤退損	288	—
債務保証損失引当金繰入額	—	156
関係会社厚生年金基金脱退損	—	81
その他	103	42
特別損失合計	1,134	395
税金等調整前四半期純利益	3,200	4,663
法人税、住民税及び事業税	879	810
法人税等調整額	868	1,419
法人税等合計	1,748	2,230
少数株主利益	326	262
四半期純利益	1,125	2,170

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,200	4,663
減価償却費	6,193	5,324
受取利息及び受取配当金	△372	△303
支払利息	604	560
有形固定資産売却損益 (△は益)	△75	—
有形固定資産除却損	140	60
持分法による投資損益 (△は益)	△29	33
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,795	△434
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,339	2,740
仕入債務の増減額 (△は減少)	244	605
その他	△695	△613
小計	5,074	12,636
利息及び配当金の受取額	421	304
利息の支払額	△601	△573
法人税等の支払額	△2,194	△695
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,701	11,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△88	△285
定期預金の払戻による収入	273	155
有形固定資産の取得による支出	△5,853	△2,887
有形固定資産の売却による収入	462	27
投資有価証券の取得による支出	△864	△757
投資有価証券の売却による収入	39	87
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	56	—
その他	△9	191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,983	△3,468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,333	326
長期借入金の返済による支出	△681	—
配当金の支払額	△1,663	△1,360
少数株主への配当金の支払額	△139	△269
その他	24	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,874	△1,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,119	559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△528	7,347
現金及び現金同等物の期首残高	12,086	12,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,558	19,815

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	印刷 インキ (百万円)	グラフィック アーツ 関連機器 及び材料 (百万円)	高分子 関連材料 (百万円)	化成品及び メディア 材料 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	52,982	13,260	26,549	29,977	2,965	125,735	—	125,735
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	436	12	817	766	685	2,719	(2,719)	—
計	53,419	13,273	27,367	30,743	3,650	128,454	(2,719)	125,735
営業利益	3,031	346	1,922	4,149	143	9,593	(5,483)	4,110

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	印刷 インキ (百万円)	グラフィック アーツ 関連機器 及び材料 (百万円)	高分子関連 材料 (百万円)	化成品及び メディア 材料 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	46,627	12,369	23,949	23,226	2,296	108,469	—	108,469
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	293	22	876	678	531	2,402	(2,402)	—
計	46,920	12,391	24,825	23,905	2,828	110,872	(2,402)	108,469
営業利益	3,817	174	3,085	2,735	56	9,869	(4,841)	5,027

(注) 1 事業区分は製品系列を基礎とし、市場の類似性も考慮して区分しております。

2 各事業の主要な製品

(1) 印刷インキ……………オフセットインキ、グラビアインキ等

(2) グラフィックアーツ関連機器及び材料……………印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料、
グラビアシリンダー製版等

(3) 高分子関連材料……………缶用内外面塗料、金属インキ、樹脂、接着剤、ワックス、
塗工材料等

(4) 化成品及びメディア材料……………有機顔料、加工顔料、合成樹脂着色剤、着色樹脂、カラー
フィルター用材料、電子材料、インクジェット材料等

(5) その他……………天然材料、役務提供等

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	89,855	30,961	1,244	3,673	125,735	—	125,735
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,735	1,841	756	14	11,348	(11,348)	—
計	98,591	32,803	2,000	3,688	137,083	(11,348)	125,735
営業利益又は 営業損失(△)	2,315	1,827	△271	7	3,878	231	4,110

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	80,328	24,751	622	2,767	108,469	—	108,469
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,834	842	571	8	9,256	(9,256)	—
計	88,162	25,593	1,193	2,775	117,725	(9,256)	108,469
営業利益又は 営業損失(△)	4,050	1,017	△500	△181	4,386	641	5,027

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア……中華人民共和国、台湾、オーストラリア、マレーシア、シンガポール

(2) ヨーロッパ……フランス、ベルギー

(3) 北米……アメリカ

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア・ オセアニア	ヨーロッパ	北米・中南米	アフリカ	計
I 海外売上高(百万円)	32,705	1,356	4,027	105	38,194
II 連結売上高(百万円)					125,735
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.0	1.1	3.2	0.1	30.4

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア・ オセアニア	ヨーロッパ	北米・中南米	アフリカ	計
I 海外売上高(百万円)	26,360	622	2,833	71	29,888
II 連結売上高(百万円)					108,469
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.3	0.6	2.6	0.1	27.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア……中華人民共和国、台湾、オーストラリア、マレーシア、シンガポール

(2) ヨーロッパ……フランス、ドイツ

(3) 北米・中南米……アメリカ、メキシコ

(4) アフリカ……南アフリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高(ただし、連結会社間の内部売上高を除く)であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。